



2025年1月16日

会社名 株式会社TOKAIホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 小栗 勝男  
(コード番号：3167 東証プライム市場)

## TOKAI グループ標準生成 AI サービス 「T-Assistant (ティー・アシスタント)」のリリースについて

株式会社TOKAIホールディングス（本社：静岡県静岡市葵区、代表取締役社長：小栗勝男、以下当社）は、当社グループの役職員が安全にかつ安心して生成AIを活用していくため、グループ標準生成AIサービス「T-Assistant (ティー・アシスタント)」を構築し、運用を開始しましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 背景と経緯

当社グループでは、2023年7月より生成AI利用における情報漏えい等のリスクを排除し、当社グループの役職員が安全にかつ安心して利用できる生成AI環境の準備を進めてまいりました。

2023年10月に「生成AI利用ガイドライン」を策定し、業務で生成AIを利用する場合のルールを明確化するとともに、2023年12月には、当社グループ内から有志を募り、自社内における生成AIの利活用の可能性を模索・検討するプロジェクトチームを立ち上げました。

Azure OpenAI Service<sup>※</sup>を利用した当社グループ専用の生成AIサービス環境を構築し、プロジェクトチームを中心とした機能面や運用面等の検証を経て、2024年9月にグループ標準生成AIサービス「T-Assistant (ティー・アシスタント)」をリリースしました。

なお、リリースにあたっては、役職員向けに生成AIについての教育コンテンツを提供し、生成AIが内包するリスクの認識と適切な利活用のためのルールの理解を徹底しています。

#### 2. 活用の範囲

現在、グループ標準生成AIサービスは、次のような用途を中心に活用を推進しています。

- ・取引先等へのメールや文書案の作成、翻訳、営業支援やリサーチ業務。
- ・独自のテンプレートを活用した業務効率や生産性の向上。
- ・新たな事業や施策立案のアイデア出し。

### **3. 今後の展開**

今後、グループ標準生成AIサービスの利活用で得られた知見を当社グループ内で共有するとともに、AI技術の最新動向を見極めながら提供機能の拡充や運用の高度化、生成AIの中長期的な利活用プラン等について検討してまいります。

また、各社・事業固有領域での活用については、テキスト以外の入力や機密情報のアップロード・蓄積が想定されること等から、別途利用者を限定した専用環境を個別に構築し、活用していくことを見込んでいます。

当社グループは、今般の「T-Assistant」の導入をはじめ、先進的なDXの取り組みを積極的に推進し、一層の事業収益力の強化や生産性の向上に努め、更なる成長を目指してまいります。

※Microsoft 社が提供するクラウドサービス Microsoft Azure 上で、ChatGPT をはじめとする OpenAI 社の様々な生成 AI モデルを活用できるサービス

#### **【本件に関するお問い合わせ】**

株式会社T O K A Iホールディングス DX 経営戦略本部グループ IT 統括部

担当：曾根 TEL：054-273-4955

以 上